

CSRマネジメント

JSRグループは企業理念「Materials Innovation — マテリアルを通じて価値を創造し、人間社会(人・社会・環境)に貢献します。」に立脚して様々なステークホルダーとの良好な関係を築き、信頼され、必要とされる企業市民となることを目指しています。そのために企業理念を実践する経営とCSRを一体のものと捉え、社会的重要な課題の解決に取り組みます。

CSR推進体制

JSRは、代表取締役直属のCSR会議を設置して、JSRグループのCSRを推進しています。CSR会議の下、企業倫理の啓発とコンプライアンスの強化を図る「企業倫理委員会」、レスポンシブル・ケアを推進し持続可能な社会の実現を目指す「レスポンシブル・ケア(RC)推進委員会」、リスク管理体制の一段の強化を目指す「リスク管理委員会」、およびJSRグループが取り組むべき社会貢献を検討、推進する「社会貢献委員会」の4つの委員会を設置しています。CSR会議は、これら4つの委員会の活動を統括・指導し、年4回の定例会議と臨時会議を通じてCSRマネジメント強化と推進に努めています。

コンプライアンス

JSRグループは、法令を遵守することは当然のこととして、経営方針「ステークホルダーへの責任」を果たすために企業倫理を実践します。企業倫理の具体的なガイドラインとして、「JSRグループ企業倫理要綱」を制定しています。企業倫理委員会は、従業員が高い倫理観を維持し、公平かつ誠実に行動するよう働きかける活動を推進しています。国内外の事業所で「企業倫理意識調査」を実施し、従業員の企業倫理意識の状況を把握し、課題を特定、対応するフォローアッププランを作成します。コンプライアンスの強化のため、2013年4月に法令に関する重要事項を記載した「コンプライアンスハンドブック」を作成し、全従業員に配布しています。JSRは、韓国と中国の規制に基づくコンプライアンスハンドブックを発行し、韓国と中国のJSRグループ会社に配布しています。

リスク管理

JSRグループは、重大な危機の発生を未然に防ぐこと、および万一重大な危機が発生した場合に事業活動への影響を最小限にとどめることを経営の重要課題と位置づけ、リスク管理活動に取り組んでいます。JSRグループでは、独自のリスク管理システムを運用し、爆発、火災、大地震、テロ攻撃を含む幅広いリスクを定期的に特定・評価し、対策を策定します。洗い出されたリスクのうち事業継続に大きな影響を及ぼす可能性があるリスクを「JSRグループ重要リスク」と位置づけて経営層自ら把握したリスクのモニタリングと定期的な見直しで、未然防止と危機発生に備えた体制の構築と維持を図っています。

JSRは、毎年1回、社長を本部長とする災害対策本部メンバーが参加する危機管理訓練を実施しています。2017年度は、首都直下型地震(東京湾北部を中心とした大規模地震)が発生し、本社だけでなく、グループ企業も含めた関東地方の各拠点が被災したとの想定で危機管理訓練を実施しました。JSRグループは、今後も様々な危機を想定した訓練などを通じて、災害時の安全確保および、被害抑制と事業継続のため備えをしていきます。

ステークホルダーへの責任

「全ての起点は社会からの期待」との認識のもと、自分勝手な判断基準に陥ることのないよう、ステークホルダーとの対話を重視しています。JSRグループでは、「ステークホルダー」という用語は、全顧客・取引先、従業員、社会、および株主を指します。

CSRマネジメント

顧客および取引先様に対する責任

お客様のニーズに合った「革新素材」「良い製品」を提供し、より良い社会の実現に貢献していくことは、当社グループの最も重要な役割であると考えています。お客様に安心してお使いいただけるよう、当社グループでは品質保証活動、製品安全に対する取り組みにも力を入れています。これらの取り組みが認められ、世界の顧客からトップランクのサプライヤー賞を受賞しています。

一方、取引先様とのコミュニケーションを通じて、JSRの事業活動の改善につなげています。

従業員への責任

従業員が課題を正しく認識、解決でき、組織能力が維持向上できる仕組みの構築と企業文化の醸成に取り組んでいます。また、働き方改革(ワークスタイル・イノベーション)を推進し、業務の付加価値の向上への取り組みにも力を入れています。一方で、JSRグループのグローバル人事体制を整備し、グループ・グローバルレベルでの人材育成・人材管理を行っています。JSRグループ全体で多様な人材の活躍により相乗効果が生まれています。

地域・社会への責任

JSRグループは、事業活動を行う地域・社会からの高い信頼を得るため、レスポンシブル・ケア活動を通じて、環境負荷低減に取り組んでいます。また、生物多様性や廃棄物の削減や再資源化等の資源循環、社会貢献活動など、社会の持続可能な開発への取り組みを行っています。

株主への責任

IR活動を通して、株主・投資家に経営状況と会社の方針について迅速かつ正確にお伝えするよう努めています。定時株主総会では、集中日を避けた早期開催、株主総会招集通知の早期発送、インターネットによる議決権行使の採用などを実施し、株主の議決権行使を円滑にしています。四半期ごとの決算説明会のほかに、機関投資家・アナリスト向けセミナー(技術セミナーなどを含む)の開催など、幅広く双方向のコミュニケーションを図っています。

マテリアルを通じた事業機会の創出により企業価値の向上を目指します。

- 継続的な経営効率の向上。
- 透明性を高め、健全な企業経営の実践による信頼醸成。
- JSRグループは、2009年4月、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に参加しました。グローバルに事業活動する企業として、グローバル・コンパクト10原則が謳う人権・労働・環境・腐敗防止へのより一層の配慮が必要と認識し、より積極的に企業の社会的責任を果たしていきます。また国連で2015年に採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」が掲げる目標についても、事業活動を通じて達成すべく取り組みを進めていきます。